

# 高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学附属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学附属高輪台高等学校同窓会  
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16  
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.15

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学附属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

## 屋形船懇親会から 同期会へ



2009年9月26日「高輪会第3回屋形船懇親会」を開催しました。前回の「第2回屋形船懇親会」までは主に若年層会員の皆様に参加していただくことで開催しておりましたが、今回からは会員の皆様だったら何方でも参加していただくことを基に企画いたしました。今回、参加いただいた皆様は各年代で表のような方々が参加されました。また、久しぶりに学校、後援会、部活動後援会の皆様にも参加いただきご祝儀までいただいたことは恐縮に感じております。

昭和 20 年代	5 名
昭和 30 年代	13 名
昭和 40 年代	8 名
昭和 50 年代	6 名
平成 年代	3 名
学 校 関 係	3 名
後 援 会 関 係	3 名
部 活 後 援 会 関 係	1 名

当日は、まだ明るい16:00にお馴染みの船宿「富士見」さんを出発し建設途中のスカイツリーを横に見ながら土方会長からの挨拶に始って片桐副校長、網中後援会長のご



出航間際の船内

挨拶をいただき賀来部活動後援会副会長のご発声で乾杯の後に懇親に入りました。テーブル上には、蟹・アスパラ・牛のオードブルが用意されており、続いて船盛りの刺身・江戸前の握り鮎等を楽しみながら各テーブルでは歓談が進んでおりました。屋形船懇親会参加は初めての方々もおり、久しぶりに会う仲間達と当時の話の中で知らなかったこと・忘れていたことが蘇ってきていたようです。その頃には船内で揚がった天婦羅がキス・メゴチ・イカ・エビ・・・と順に出てきメインはアナゴ(前回よりは小

振り?)でしたが食べ切れない位の量は前回と同様でした。その後は隣の席や異なる年代の人達との話も弾み、船の屋上まで出て初秋の東京湾の涼風を身体一杯に受けながら各年代間での話が満喫しておりました。屋上で新鮮な海風にあたった後の船内は一層和やかな雰囲気となり席を変えて思い思いの歓談が続きました。そのような中「同期



メロン、オレンジのデザートも出て

で忘年会をしよう!」と話が盛り上がった年代も出てきたようでした。

下船時には好評の網蛇子をお土産に、皆さん楽しい一時を過ごせました。



船屋上にて年代を超えて記念撮影

後日談：屋形船懇親会をキッカケに同期会が12月に忘年会を兼ねて発足したことを知り役員一同その役割を果たしたような感じを受けました。更に新幹事歓迎会をキッカケに若い年代の同期会も開かれたとのこと、高輪会の活動が何等かの形で会員の皆様の動機付けになることを願っております。

実行委員長 広村 直行

# 同期会の活性化を望んで



高輪会会長 土方 啓司

我々、同窓会が「高輪会」として再発足したのは1995年のことでした。「歳月人を待たず」とは良く言われておりますが、早15年の時が過ぎたこととなります。その間、高輪会活動が途絶えることなく今日を迎えられたのも会員皆様のご理解とご協力があったればこそと、改めて感謝申し上げます。高等学校第一回生の先輩方も「高輪会」再発足当時は「還暦」半ばでございましたが今日では「喜寿」も超えられ、多くの先輩方がお元気でられることは誠に喜ばしいことであります。第一回生の先輩から61年の歳月が過ぎました本年3月には「第61回卒業証書授与式」が行われ、新たに426名の新会員を迎え累計24,329名の高輪会となりました。また、3年前に開設された中等部も本年第一回卒業生が巣立ち、全員が高校に入学「第67回高校生」として高校生活を歩み出しております。母校も本年、中等部「266名」高等学校「1,307名」生徒数合計では「1,573名」の大きな学校となっております。

高輪会活動も定期総会の合間に催されておりました「いとし会」「屋形船懇親会」も途中「記念式典」等で抜けた年もありましたが、各々「第三回」の催しを開催することができました。昨年、初秋の9月には「第三回屋形船懇親会」を開催し懐かしい皆様と中身の濃い場を持つことができました。特に、

このような高輪会活動がきっかけとなり新たな同期会が生まれたことは何よりの朗報でした。高輪会活動と同期会活動とは個別の独立したのではなく表裏一体のもので卒業生同志の会が活性化されれば同窓会・高輪会も活きた存在となって卒業生皆様に還元されるものとなります。昨今の日本では世代間の断絶、或いは伝承が途切れていることが今日の日本の状態を招いた一因であるとも言われています。高輪会の世代差は80歳代から20歳代まで実に60年以上もの開きがあります。旧制工業高校の大先輩はまさに戦争の経験者でもあり、大先輩会員と本年卒業の会員とでは親子以上の年代差があります。世代は変わっても同じ高輪会の会員で学んだ母校も一つであります。先輩達の生きた歴史から何かを学び、自らが持っている価値観・考えを後輩に伝える、このようなことができるのも同窓会です。本年は定期総会の年であり11月7日に「第6回高輪会定期総会」を企画しております。懇親会では今迄とは趣の異なった若き声楽家による懐かしい歌・東海の歌等々をお届けしようと計画しております。是非これを機会に定期総会・懇親会にご参加いただき同期の方々とは旧交を確かめ同期会開催・活性化につながることを期待してご挨拶に代えさせていただきます。

## 第6回高輪会定期総会に向けて

来る11月7日(日)霞ヶ関 東海大学校友会館にて定期総会の実施に向けて、実行委員長を致します副会長の杉山守男です。

総会においては、議事をスムーズに進めるため役員会にて何度となく議案の検討を行ってきております。まず、議案については会員皆様のご活発なるご審議を期待するところであります。

さて、今回の総会での目玉と致しまして、懇親会を進めながら皆様に「新鮮な音楽」を堪能して頂きたくプロの声楽家集団「ムジカ・フレスカ」をお呼びいたしました。「ムジカ・フレスカ」とはイタリア語で「新鮮な音楽」という意味が有るそうです。ここでは、「ムジカ・フレスカ」の事務局をお願いいたしまして、紹介記事の掲載をさせて頂きましたので多くは語りません。

第5回の定期総会では学校の吹奏楽部の演奏を交え豪華賞品が当たる大抽選会を企画いたしまして参加会員の大きな喝采の中での興奮もまだ記憶に新しいと思います。

今回は大人の雰囲気満載で、大きく趣向を変えてみました。きっと素敵な一時になると確信しております。

また、恩師の先生方にもお声をお掛けいたしました。懐かしいお顔と、懐かしい話題に同窓会総会ならではの楽しい時間に華が咲くものと思っております。

実行委員会役員一同、頑張って進行させて参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

※出席される方のみ同封のハガキにて10月23日(土)迄にご投函お願い致します。

### 第6回高輪会定期総会・懇親会 <平成22年11月7日(日)> <会場:東海大学校友会館 霞が関ビル35F>

■会費:5,000円

[受付]14:30~15:00

[総会]15:00~16:00

[懇親会]16:00~18:30

◎ご出席いただける恩師の先生方

清水 智明(国語・勤務年度S32年~)

小椋山 磐(数学・勤務年度S32年~)

志村 義樹(英語・勤務年度S32年~)

深田 二義(工業・勤務年度S33年~)

松原 健次(工業/物理・勤務年度S33年~)

景 晴正(物理・勤務年度S37年~)

鈴木不二也(英語・勤務年度S38年~)

安部 盛(美術・勤務年度S39年~)

中島 洋介(工業/数学・勤務年度S40年~)

町田 茂雄(工業/数学・勤務年度S42年~)

若林 政和(工業/数学・勤務年度S46年~)

渡邊 修(化学/第5代校長・勤務年度H4年~)

森 公法(数学・勤務年度H12年~)

\*敬称略

## 第6回高輪会定期総会 記念コンサートのご案内



### プログラム

1. 建学の歌
2. タイム トゥ セイ グッドバイ (全員)  
クアラントット作曲
3. 私のお父さん (藤田)  
ブッチーニ作曲  
オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
4. もう飛ばまいぞこの蝶々 (藪内)  
モーツァルト作曲  
オペラ「フィガロの結婚」より
5. 恋とはどんなものかしら (吉田)  
モーツァルト作曲  
オペラ「フィガロの結婚」より
6. 共に手を取り (吉田・藪内)  
モーツァルト作曲  
オペラ「ドン・ジョヴァンニ」より
7. 女心の歌 (与儀)  
ヴェルディ作曲  
オペラ「リゴレット」より
8. 逍遙歌
9. ハバネラ (吉田)  
ビゼー作曲 オペラ「カルメン」より
10. 闘牛士の歌 (藪内)  
ビゼー作曲 オペラ「カルメン」より
11. 慕わしき御名 (藤田)  
ヴェルディ作曲  
オペラ「リゴレット」より
12. 誰も寝てはならぬ (与儀)  
ブッチーニ作曲  
オペラ「トゥーランドット」より
13. 唇は語らずとも (全員)  
レハール作曲  
オペレッタ「メリーウイドウ」より

(懇親会)

(乾杯の歌)

「ムジカ・フレスカ」は、内閣府認証のNPO法人であり、その意味は、イタリア語で「新鮮な音楽」です。私たちは、常に「新鮮な音楽」をお届けすることを目指し、演じる人、聴く人、場を提供する人が心一つにして、広く社会に貢献する活動を続ける団体でありたいという願いが込められています。今年の定期総会懇親会を盛り上げられますようメンバー一同がんばります。

### メンバー・プロフィール

#### 藤田美奈子(ふじたみなこ) / ソプラノ

東京芸大卒業。同大学院オペラ科修了。リクルート・スカラシップ奨学生として渡伊。数々の国際声楽コンクールに入賞。イタリア・カリ市立劇場「アリオダンテ」ダリнда役にてヨーロッパ・オペラデビュー。「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」等を各地で公演。帰国後も大野和士氏の「レクチャーコンサート」や西本智実氏の「第九」に出演し、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団などとも共演し好評を得る。二期会会員。



#### 吉田 静(よしだしずか) / メゾ・ソプラノ

静岡県出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了。日生劇場「魔笛」、絨毯座「コジ・ファン・トゥッテ」、ミラマール・ムジカ「魔笛」、調布市民オペラ「こうもり」、国民文化祭・THEしずおが「蝶々夫人」、東京・春・音楽祭〜東京のオペラの森〜「バレンジアル」等、数々のオペラや演奏会に出演。小澤征爾音楽塾「こうもり」に塾生として参加。また、毎週月曜日22時〜放送中の「BS日本こころの歌」に、番組レギュラー出演中。



#### 与儀 巧(よぎたくみ) / テノール

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学院修了。第71回日本音楽コンクール声楽部門入選。第42回日伊声楽コンクール入選。第6回東京音楽コンクール声楽部門第1位及び聴衆賞。2010年二期会公演ヴェルディ「オテロ」ロドリゴ役で二期会デビュー、同じく2011二期会公演「サロメ」ユダヤ人役で出演予定。これまでに声楽を田口興輔氏、ジュリアーノ・チャンネッラ氏の両氏に師事。イタリアボローニャへ1年間留学。



#### 藪内 俊弥(やぶうちとしや) / バリトン

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。第12回日仏声楽コンクール第2位入賞。「芸大メサイア」、「第九」、モーツァルト、フォーレ、レクイエム、バッハ「ロ短調ミサ」、マタイ受難曲、ヨハネ受難曲等ソリストを務める。オペラでは、東京室内歌劇場公演バイゼット「セヴィリアの理髪師」、バレットロ、新国立劇場ツインマーマン「軍人たち」三人の大尉で出演、また、「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「ランメルモールのルチア」エンリーコ、「フィガロの結婚」フィガロ、「コシ・ファン・トゥッテ」グリエルモ等演ずる。



#### 巨瀬 励起(こせれいき) / ピアノ

福岡県出身。東京藝術大学音楽学部楽理科を卒業後ピアノ/奏者として幅広い活動を開始、特に声楽・器楽、合唱の伴奏者として数多くの演奏会に出演。近年はチェレスタなどオーケストラの鍵盤楽器奏者としても活動している。2008年11月および2010年1月、ソロ・リサイタルを開催。現在、昭和音楽大学および同短期大学部嘱託(伴奏/声楽・オペラ)、立教女学院短期大学講師(ピアノ)。



## 2009年度新幹事歓迎

3月7日に「第1回中等部・第61回高等学校」卒業証書授与式が行われ、高等学校女子170名、男子256名の計426名が新たに高輪会に入会されました。その前3月5日に高輪台高等学校アリーナにて高輪会入会式が行われ「宍倉副会長」から歓迎の挨拶がされました。入会式後、目黒「雅叙園」にて歓迎昼食会が催され高輪会からは土方会長、杉山・宍倉両副会長、伊藤監査役が、学校からは小林教頭と鶴岡理事とが出席。それと同時に今年初めての試みとして新幹事の先輩にあたる2008.3卒の「緑川隆浩氏・平根賢太郎氏」に参加いただき、新幹事が高輪台高等学校に入学した時の最上級生と言う親しみもあって終始和やかな雰囲気での昼食会となりました。今年の新幹事の皆さんは次の通りですので紹介いたします。



昼食会会場にて



雅叙園中庭にて

1組	渡邊麻里衣	6組	日比 裕美
2組	金山 照良	7組	新城 裕之
3組	佐羽内由香	8組	堤 彩花
4組	大沼 雄貴	9組	昼沢 良介
5組	大貫 絵里		

## 同期会の便り

### ● 昭和36年卒 同期会「48年ぶりの再会」 <出席人数：26名 会場：鯨の屋>

胡屋 謙一郎

昨年9月26日に高輪会「第三回屋形船懇親会」が行われ久しぶりに多くの先輩後輩と再会し、学生時代の思い出話に花が咲き盛り上がりました。屋形船は浅草からお台場まで約2時間強の遊覧で秋も深まる隅田川の夕日を眺め、若き青春の思い出に皆耽っていたようです。帰り際に同期の仲間から「忘年会をやろう!」の話を持ち上がり急遽幹事を引き受けて貰える人選から始めました。立ち上げに際しては幸いな事に我々は年齢的にも現役での活動からは束縛されない仲間が多く、また高輪会会長が同期生でもあった事から昭36年卒業生名簿の入手が容易であった事も幸いでした。さて48年振りの同期会呼びかけに「開催日時・場所」などについて発足幹事で色々思考錯誤を繰り返しながら忘年会と云うこともあって12月12日(土)市ヶ谷「鯨の屋」で開催する事を決定しました。またこの短期間にどれだけ多くの仲間が集められるか不安な一面もありましたが、有志幹事の懸命な努力により当日は恩師3名を含み26名の参加を得て無事開催することができました。かねて有志幹事会ではこの会の継続性を図るべく同期会の名称を検討していたところ、我々は東海電波高等学校を卒業したので校名と卒業年次にこだわり「東海電波三六会」なる名称・会則を以て参加者全員の賛同のもと48年振りの同期懇親会が行われま



した。当日は疎遠になっていた仲間の顔と名前が分からない事も考えられ全員に名札を付けてもらいました。当時のクラス編成は通信科「A、B」、電子科「C、D」クラスに分かれておりクラブ活動に入部しなければ余り交流もなかったようでした。会に先立ちご参加いただいた恩師「清水智明先生・

小檜山磐先生・志村義樹先生」より当時の思い出を語っていただきました。我々の時代には多くの困難な問題を抱えとりわけ生徒募集には苦勞されていたようで改めて御苦勞を知る機会となりました。当日は日頃から会っている仲間もあれば、本当に数十年振り・48年振りの仲間ありで思い出話から予想もつかない人生を送った者まで興味深い話に関心と驚きがありました。中でも印象的だったのは同期の皆さん、当時の多田元一校長が事あるごとに言われた「信頼と敬愛 常に紳士たれ」と云う建学の精神が人生を歩む中で心の支えになっていたようでした。懇親

会の時間もあっという間に過ぎましたがハワイ在住の屋代氏から不参加の代わりに全員に「ハワイのお土産?」を送られて来ましたので分け合い、記念写真を撮り又来年会える事を願って散会いたしました。同期の仲間は「良き仲間」そのものです。皆様も是非同期会など立ち上げて親交を深められる機会を持たれる事を祈念しております。

### ● 平成20年卒 同期会 <出席人数：38名 会場：アーキテクトカフェ青山 19:30～>

平根 健太郎

4月1日、外苑前駅にありますアーキテクトカフェ青山というお店で2008年高輪台高校の卒業で久しぶりに集まり、同窓会をしました。

大学でも良く会う友人もいれば、他大学に行ってしまうと会う機会のない友人らと出会える同窓会となり、今年4月で2008年卒業生は全員20歳を迎えたということで、お酒を交えての催しとなりました。

同窓会で話した内容は人によって多種多様で、自分は主に今、現在の状況報告や高輪台での思い出話がほとんどでした。現在の状況報告のやりとりは、友人がなにをされているのかを聞いたり、大学での情報を交換しあったりしました。高輪台の思い出話ではたった2年前の話なのに、とても懐かしさを感じながら、しみじみと自分も学校の話肴にお酒を飲む年になったのだと



感じました。料理はビュッフェ形式でサンドウィッチやスパゲッティ、ピザなどを食べましたが、おいしい料理の食べ放題だったためにみんなの箸も進み、最後は料理の在庫がなくなっていました。しかし、それでも、みんな楽しそうで、話は同窓会が終了時刻になっても盛り上がりしていました。

同窓会では、高校時代に一緒に制服を着て、机を並べて勉強や遊んだ仲間が2年たった今でも、つきあえる場があるのは大変良いことだと再確認できました。わかってはいても、なかなかできるものではないので今回の同窓会はとても有意義な同窓会でした。

またの機会にこのように再会できる機会が設けられると良いと思います。

## 18年間続く 学校報「飛躍」

校長

杉 一郎



本校の学校報「飛躍」の第1号は、1992年4月13日に発行され、今年7月で290号を数えました。この18年間、毎年8月の夏休みをのぞき発行されてきました「飛躍」ですが、初刊から数年間は、月に数回発行されたこともあります。現在は月1回の刊行となっています。

この「飛躍」は、本校研究部の教員が原稿の依頼、取材、編集、校正等に至るまでのすべてを担当しています。毎月の発行は、授業、部活動、行事などの指導や学級、学年などの業務をこなしながらの制作ですが、毎月工夫を凝らし、最も新しい、そして必要な情報を提供してくれています。特に3年前より中等部を設置しましたので、中等部1年～高校3年までの6年の年齢差と、保護者や卒業生の皆様等への情報伝達ができるように工夫していただいています。

さて、第1号には、『今年度から「学校報・飛躍」という名称で、月に数回、配布する予定です。内容は、全学年に関係する記事、学校全般に関する記事、また各種研究発表・募集等の案内・・・』と書かれています。18年前と今とでは、制作・印刷技術等は異なっていますが、目指すものは発行当時と同じです。

発刊当時の「飛躍」を読み返して見ても、その時々学校の様子、歴史が取って見えます。これからも、高輪台高校・中等部が「飛躍」の表題のように、高く飛び上がり、進歩・発展できるよう教職員一同努力して参ります。

卒業生の皆さん、是非、本校のホームページの「飛躍」をクリックしていただき、母校の様子を確かめていただきたいと思います。そして、部活動・学校行事・外部での発表等、いろいろな場面での本校生徒への応援をよろしくお願いいたします。

## 部活動の活躍に 寄せて

副校長

片桐 知己治



一昨年度は、野球部が全国野球選手権大会東京都大会で準優勝。昨年度は、サッカー部とレスリング部が東京都代表として、インターハイに出場を決めてくれました。

今年度は、まず6月に行われた関東大会に卓球部3年の小島正史君が、東京都第3位で出場。続いて弓道部3年の榎村真理さんが、東京都で優勝して沖縄で行われるインターハイの出場を決めました。また、ダンス部もミスダンスドリル関東大会で3位に入り夏の全国大会への連続出場を決めています。

卓球部の小島君は中学までは野球で汗を流し、弓道部の榎村さんに至っては、中学生時代はなんと茶道部員でした。本校に入学して、初めて本格的にそれぞれのスポーツに打ち込み、3年生で東京都のトップクラスまで駆け上がってきたのです。昨年度のサッカー部員がそうであったのと同様、ごく普通の高校生が本校で努力を重ねて、全国大会に駒を進めていく。高輪台のスタイルが生まれつつあるような気がします。

また、4年後に東京で行われる国体に備えて、東京都が昨年度から都内の有力校を指定している「東京アスリート育成推進校」に今年度は本校卓球部(男子)とバスケットボール部(男子)弓道部(男子)が強化校として東京都から指定を受けました。

さらに、中等部の陸上競技部で3年生の村山航大君が走り高跳びで東京都2位となり、千葉県で行われる関東大会と、鳥取県で行われる全国大会に出場が決まりました。村山君は今回の成績が評価されて東京都ジュニア強化選手に認定されました。

この先も、復活を懸けた吹奏楽部の動きにも目が離せません。それぞれの部活動の予定や試合結果を本校ホームページでご紹介していますので、応援よろしくお願いいたします。

## 新人先生紹介

島村 誠

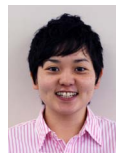


本年度より特任教諭として保健体育科・剣道部顧問として勤務させていただきます。学生時代からの目標でもあった教員として、本年度より働けることを大変嬉しく思っています。

私は生徒に『ルールを守ること』を知ってもらいたいと思っています。時間を守る、服装を直すなどのことは生徒の頃にしか注意してもらえません。大人になるにつれ、注意されることは少なくなっていくと思います。なので、高輪台生として胸を張って社会に出ていけるような指導をしていきたいと思っています。

今は一日一日が経つのがとても速いです。それは毎日がとても充実しているからだと思っています。授業や部活など、すべてが勉強であると思っています。まだまだ未熟な部分が多いですが、一生懸命勉強していきたいと思っていますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

住廣 郁子



今年度から高輪台高校・中等部で特任教諭として勤務させていただきます。住廣郁子と申します。これまでは非常勤講師としていくつかの学校で授業だけを担当してきました。今年度からは、中学1年・高校1年の授業担当だけではなく、高校1年の学級担任、男子バレーボール部顧問などさまざまな業務に携わらせて頂き、環境の変化に戸惑いながらも新鮮で充実した日々を送っています。

学校生活の中での生徒の一生懸命な姿やがむしゃらに取り組む姿を見ると、大きな可能性を感じます。生徒一人ひとりの持つ可能性に気付き、それを最大限に広げられるような支援をしていきたいと思っています。私自身も一生懸命がむしゃらに努力していきますので、宜しくお願い致します。

中野 優子



高輪台高校に勤務して、今年で3年目になります。今年度から特任講師として勤務させていただくことになりました。昨年度までは非常勤講師として授業のみを担当していましたが、今年は1年生の担任と女子バスケットボール部の顧問として日々活動をしています。今までよりも生徒たちに接する機会が多い分、一緒に行事に参加することや、喜びや悩みを共有出来るのがとても嬉しく思います。ずっと担任を持ってみたいという夢が叶い、毎日壁にぶつかりながらも、教室をよくしていこうと試行錯誤を繰り返しています。「1年6組でよかった」と生徒たちが思ってくれることを目標に、教室運営をしていきます。未熟者ですが、生徒の目線で物事を考え、生徒たちと一緒に成長していきたいと思っています。今後ご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

## 新人先生紹介

### 羽部 真美香



桜咲いて、高輪台に入学する新一年生と共に、私自身も新社会人、先生一年生として高輪台の一員となりました。高校一年生の担任となり、初めて触れる陸上部の顧問となり、毎日が新しい発見と試行錯誤の繰り返しです。初めて尽くしで、常にまだまだ未熟な自分自身を痛感させられます。そんな中、生徒達とのちょっとしたやりとりや、ふとした瞬間に感じる喜びが私の仕事に対する原動力になっている気がします。生徒に支えられ、周りの先生方に支えられながら、頑張ることのできるこの環境に感謝し、生徒と共に成長していきたいです。よろしくお願ひ致します。

### 古谷 知永



今年度より、1年B組担任、芸術科(音楽)、吹奏楽部顧問を担当させていただいております古谷知永と申します。初めての担任ということもあり不安もありますが、今まで以上に多くの生徒と接する機会が増え、とてもうれしく思っております。

私は、教師にとって一番大切なものは、生徒との信頼関係を築くことだと考えています。ですから、教師という立場からだけではなく、時には生徒と同じ目線で向き合っており、そして一緒に成長していきたいと思っています。いろいろと至らぬ点がございますが一生懸命、前向きに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 渡邊 聡



本年度より特任教諭として勤めさせていただいております、渡邊 聡です。教科は数学を担当しています。1年5組の担任、数学の授業、野球部の顧問など、この3ヶ月間は想像以上の忙しさでしたが、毎日とても充実した日々を過ごしています。

教員になり強く感じることは、「生徒の笑顔がこんなにも勇気を与えてくれるのか」ということです。思うようにいかないときもあり悩むことの多い毎日ですが、生徒と接し笑顔を見る度、その笑顔に励まされ、「まだまだできることがあるから頑張らなければいけない」と感じます。

目標となる先生方がたくさんいるこの学校で働くことに喜びを感じながら、生徒とともに私自身も成長していきたいと思っています。

## 学校報告・部活紹介

### ◆ダンス部

ダンス部顧問 吉田 恵美・青木 直也 コーチ 山田 優美

現在3年女子15人は8月に行われる「ミスダンスドリル日本大会」に向けて日々練習に励んでいます。私達は今回の大会にエントリーするために1年生の頃から頑張ってきました。ダンス部の規律は厳しく、大会で衣装を着たり化粧をしたりする為にはダンスの技術だけではなく、学校生活においても他の生徒の模範となるようにと顧問の先生方からご指導頂いていました。先輩方もこの大会に毎年勝ち進み、その姿は私達の目標となっていました。

私達は今大会に出場出来てとても嬉しく思っています。私達がここまでこれたのも顧問の先生方、コーチ、保護者の皆様、時には悩みを聞いてくれたクラスメイトそして忘れてならないのは、練習に集中できるように支えてくれる3年男子と後輩達のお陰だと感謝しています。その気持ちを心に留め少しでも恩返しできるように練習に励みます。また会場に来て頂く方に感謝を与えられるよう、より一層の努力をし頑張ります。



### ◆弓道部 「先輩から受け継ぐ想い」

弓道部顧問 東出葉月・石井達人・石坂幸一

2010年度は、私たち弓道部にとって心に残る素晴らしい年となりました。男子が国体強化指定校に認定されると共に、男女共学校になって初めてインターハイ出場を果たすことができたのです。顧問を含め、部員たちみんなの夢であるインターハイ出場を果たしてくれたのは、3年生の榎村真理さんです。彼女が1年生の時の3年生が全国選抜大会や関東大会に出場し、その



先輩たちの背中を見ていた榎村さんは、先輩たちに追いつけ追い越せと練習に励んでいました。そして今回インターハイが決まった時、現在一緒に弓道部で活動している部員はもろんのこと、卒業した多くの先輩たちから激励のメッセージが届きました。その時、この弓道部は本当に先輩・後輩の間に良い関係が成り立っていると改めて感じました。そのような先輩・後輩関係が出来ているからでしょうか。どの代の部員たちも「先輩が残してくれたこの弓道部を自分たちがしっかり受け継いでいこう」という強い意識のもと活動してくれています。これからも部員一人ひとりがこの気持ちを持ち続け、更に素晴らしい弓道部にしていくことを期待しています。

# 会費納入者一覧

## ◎高輪会維持会費納入のお願い

高輪会の会報、郵送、行事等の活動は、会員の皆様が納入していただく維持会費と入会金とから成り立っております。一人でも多くの会員の方からの維持会費は会活動の活性化にもつながるものですので、同封の郵便振替にてご納付いただきますようお願い致します。なお、本年現在で維持会費を納入いただいております皆様は下表の通りであり、この誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

S23	高橋 強	17	伊藤 弘治	11	吉田 光雄	27	山下 晃	14	有田 哲也	13				
S25	長谷川善治	12	S34	新井 信男	15	高橋 弘志	14	S53	長門 秀久	14	H9	青木 孝平	14	
	砂押 孝司	12		岸本 康弘	19	平野 泰宏	19		谷口 元	12		横田 賢一	11	
	中田順之助	12		高岩 正	14	中島 洋介	14		三瓶 慎一	12		萱森 宏樹	11	
	鶴岡 幸夫	12		星野 玉	13	丸田 惟久	18		二村 文啓	12		高原 文彦	11	
	初川 七郎	14		橋 寿一	14	田所 秀雄	12		野澤 秀治	14	H10	清水 正芳	18	
	井坂 暉夫	33		横尾 紀憲	12	中村 道彦	14	S54	飯塚 正弘	19		山本 博之	12	
	平塚 慶治	14	S35	小島 邦男	15	杉田 憲司	13		小林 裕	12		大島日出男	14	
	木俣 重隆	12		佐藤 毅	24	山本 敏一	11		高橋 利雄	11	H11	村野 太郎	14	
	中西 実	18		今西佐恵記	12	S41	吉野 正道	13		中村 則之	15	H12	熊澤 文久	11
	荻久保武雄	11		敦賀喜悦郎	19		戸叶 幹男	16		伊藤 均	13		門田 祐輔	14
	谷口 正光	11		原田 佳典	13		初川進一郎	11	S55	小池 英敏	13	H13	藤巻 祐一	13
	熊沢 勇	11		澤 利雄	14		久松 博	14		新井 一仁	14		宇田川佑介	11
S26	早川 弘	18		島村 政男	15		長井 信也	11		松宮 幸夫	19		池田 文	14
	原 道明	12	S36	藤尾 智	16		松岡 幹雄	12	S56	菅野 博史	12		安部 史	11
	本田 達雄	12		土方 啓司	22		大塚 静雄	14		長瀬 立	12		大塚 文敦	11
	井出 健一	27		柳田 光徳	13		林 雄一郎	14		新保 良孝	11		山本健太郎	11
	石関 巖	13		黒須 昇一	14	S42	堀江 文夫	13		日比野晃久	12	H14	坂西 華奈	12
	栗田 富雄	14		波多 俊吾	17		片山 文夫	15		巴 誠一	17		岩本 明子	12
	村田 達夫	14		山崎 弘	19		金房 憲治	12		小野 朋昭	20		渡辺美代子	14
	中島 秀夫	22		横山 洋一	19		安田 信義	14		馬場 博規	17		渡辺 隆介	12
	奥山 貞男	11		吉田 輝彦	12		後藤 有三	14	S57	松本 仁志	12	H15	高橋 昌寛	13
	坂路 誠	17		胡屋謙一郎	20	S43	田中 力	17		大城 正人	17	H16	宮武 綾香	14
	清水 正三	17		屋代 光博	11		緑川 一郎	12		亀井 哲郎	22		小坪 央和	14
	相山 清生	17		長谷川 徹	13		三原 幸富	11		新保 孝司	13		小田島崇光	14
	鷹取 将夫	18		新井 俊雄	14	S44	萩原 治生	17		庄野 栄一	11		武田 美帆	14
	上島 弘安	12		丸山 和信	11		谷井 明	22		門馬 泰史	12	H18	竹中 和宏	16
	星 進	13		名古屋一樹	14	S45	本沢 守正	15		佐藤 豪	14		倉持 隆	16
	加藤 慶男	18		樋口紘一郎	14		重野 吉治	11	S58	佐久間 励	22		山田 航平	16
	戸谷 謙次	21	S37	上条 秀夫	15	S48	前田 周司	11		勝又 泰平	12		大谷 彰宏	16
	木俣 博匡	19		海老沢正昭	17		千葉 守夫	21		大谷 謙太	17		横田 順平	16
	篠田 尚久	14		池田 謙三	12	S49	店網 邦雄	13	S59	東郷 康二	16		瀬良 幸寛	12
S27	伊藤 信雄	14		大塚 昭	14		宍倉 修	12		三谷 誠治	12		末富 亜己	12
	吉田 申一	14		石井 裕三	13		佐々木博之	12		楠本 隆	16	H19	田中 惇	17
	黒尾 忠行	16		富山 薫順	13		高橋 忠夫	12		佐藤 義之	14		長谷川瑠美	17
	小長井昭司	14	S38	町田 茂雄	11		望陀 匡輔	17		泉谷 剛	11		武田 千尋	17
	松田 公治	26		間下 隼宰	14		菊池 秀雄	13	S62	小島 圭市	12	H20	猿谷 学	18
	田島 昇	14		北野 恒介	12		長塚 元孝	13		新妻 吾郎	13		畠山 啓太	18
	渡辺 鈞	12		飯岡 英彦	29	S50	松本 孝二	12	S63	木村 剛	14		白藤 等美	18
	田辺 英之	24		灰田 宗孝	17		確井 斗治	13	H1	奥田 涉	14		伊石 隆平	18
S32	谷越 安男	32		山中図南雄	14		小出 信行	24	H3	伊藤 正樹	14		小野瀬広大	18
S33	松原 健次	12		内田 輝雄	15		星 俊一郎	24	H5	岩崎勝一郎	42		福井 真仁	18
	小林 道治	24		西島 正春	14		小林 慶博	11		小林 健一	22	H21	大橋 一己	19
	千代田 栄	14	S39	加藤 仁	11		岡本 吾朗	29		大井 淳	12		吉積 周史	19
	大槻 喜弘	12	S40	杉山 守男	13	S51	浅羽 弘益	12	H6	北垣 博康	17		黒田 容	19
	砂川 雅勇	11		三浦 政彦	12	S52	漆間 康志	11		平山 学	13		和田うらら	17

◎卒業生は維持会費の納入をお忘れなく、お願いいたします。

・納入者の2011年度以降の期限を西暦年、下二桁にて示す(卒業年順) ・2010年(H22)年8月31日現在 ・会計年度は9月1日に始まり翌年8月31日迄とする。

### ××× ご注意ください ×××

#### ◎振込め詐欺注意喚起

最近、高輪台高等学校の卒業生のお宅に「振込め詐欺」被害が発生しているようですので、同窓会として予防のお知らせをしたいと思います。全会員の皆様への周知徹底は難しいところがありますが、この会報で情報提供させていただき、できますれば友人・知人の方々へも注意喚起していただきたくお願い申し上げます。

#### <振込め詐欺事例>

☆昨日、息子を名乗る者から『風邪を引いた。携帯番号が変わった。』と連絡が入りました。

☆本日になって『〇〇〇万円の借金の保証人になった。直にお金を返さなければならぬ。』と電話がありましたが、隣で会話の内容を聞いていた次男が『振込め詐欺じゃないの?』と尋ねたところ、電話をきられました。

これらの事例はごく一部です。犯人は手を替え、品を替えて騙しに掛かります。また年寄りのみならず無差別に電話を掛けまくるようです。

「不審な電話を受けましたら、必ず110番!!」

## 2009年度活動報告

### 2009年度 収支決算書 (2009年9月1日～2010年8月31日)

(単位:円)

収支	科目	予算	決算	備考
収入	前年度繰越金	4,018,866	4,018,866	
	1. 入会金	4,260,000	4,260,000	卒業生より入会金@10000×426名
	2. 維持会費	300,000	556,000	
	3. 懇親会費	50,000	60,000	定期総会懇親会費、御祝儀
	4. 積立金繰入	0	0	
	5. 預金利息	1,000	2,132	
支出	6. 雑収入	0	0	
	合計	8,629,866	8,896,998	
	1. 会議費	300,000	236,516	役員会、会長・副会長・監査役会等費
	2. 広報費	70,000	45,250	2009・2010年度連合同窓会広報誌・年会費等
	3. 渉外費	400,000	794,465	2009・2010年度連合同窓会参加費等
	4. 印刷費	2,000,000	1,853,580	高輪会会報、案内状等
	5. 通信費	1,300,000	0	会報 Vol.14 前号し発送につき昨年度内に支出済み
	6. 旅費交通費	600,000	596,920	役員会、連合同窓会等の交通費
	7. 事務用品費	30,000	0	
	8. 懇親会費	500,000	558,579	いとし会・新幹事歓迎会等懇親費用
	9. 記念品費	350,000	332,630	卒業記念品等
	10. 補助費	100,000	450,000	歴代校章額作成
	11. 慶弔費	50,000	48,196	会員慶弔費
	12. 援助費	100,000	56,500	同期会等援助
	13. 積立金	0	0	
14. 予備費	50,000	0		
15. 事務委託費	320,000	300,000	会員名簿・維持会費等の高輪会諸事務委託	
15. 雑費	50,000	14,050	振込手数料	
次年度繰越金	2,409,866	3,610,312		
合計	8,629,866	8,896,998		
積立金	前年度繰越金	3,000,000	3,000,000	
	今年度繰出金	0	0	
	今年度繰入金	0	0	
	次年度繰越金	3,000,000	3,000,000	
備考(会報掲載等)				

## 学校・高輪会行事 (2010年9月～2011年3月)

2010年9月4日	後援会委員総会
9月14日	期末試験(～16日中等部、～17日高校)
18日	第35回連合同窓会総会(相模高校同窓会)
28日	第9回中等部・高校合同体育祭
10月1日	後期始業式
9日	第46回建学祭(～10日)
23日	高輪会役員会
11月2日	建学祭記念式典
7日	第6回高輪会定期総会・懇親会
16日	一斉公開授業(～17日)
27日	後援会委員総会
30日	中間試験(～12月1日中等部、～12月3日高校)
12月29日	年末・年始休暇
2011年1月22日	高等学校推薦入学試験
29日	高輪会役員会
2月1日	中等部第1回入学試験
3日	中等部第2回入学試験
10日	高等学校一般入学試験
3月4日	高輪会入会式・3年生を送る会
6日	中等部第2回、高校第62回卒業証書授与式
8日	期末試験(～11日高校)
9日	期末試験(～11日中等部)

## お知らせ

### □ 会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費1年分(2千円)～5年分(1万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用ください。

口座番号 00100-9-155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入ください。

尚、すでに納入済の節はご容赦ください。

### □ 住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局までご連絡ください。

### □ ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していこうと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

## 編集後記

多くの関係者の皆様のお陰で、今号より会報表紙を「会長挨拶」から「高輪会メイン行事報告」にリニューアルすることができました。またご多忙中にもかかわらず、原稿執筆にご協力いただきました関係者の方々へ心よりお礼申し上げます。同窓会活動のひとつである会報発刊、多くの同窓生を繋ぐ役割となるようこれからも役員一同努力していく所存です。皆様のご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

今年は第6回定期総会が11月7日に開催されます。新しい趣向で企画しましたので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### 同窓会連絡先

高輪会(東海大学附属高輪台高等学校同窓会)事務局  
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16  
TEL: 03-3448-4011・FAX: 03-3448-4020  
ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>  
高輪会事務局分室(株山久プランニング内(東海大学附属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄))  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-14-8 丸山ビル1F  
TEL: 03-5840-6347・FAX: 03-5840-6348  
E-mail: lulu-007@swan.ocn.ne.jp